

宿泊税反対、星が浦地区会館と星が浦老人福祉センター 早期改築について一般質問

9月4日から25日まで、9月市議会が行われました。この議会は、昨年度の決算審査がある議会で、会期は長めです。村上かずしげ議員は、本会議の一般質問で、①星が浦会館と星が浦老人福祉センターの早期改築、②宿泊税、③学びの多樣化学校を質問。その後、経済建設常任委員会を中心に委員会審査に臨みました。今回は、一般質問について紹介します。



私、議会の直前に新型コロナになって39度を超える熱が出ました。質問準備も十分できず、体調も完全には戻っていない中での議会でした。ご心配いただいた皆さん、ありがとうございます。

新たな庶民増税にキッパリ反対

北海道は、再来年の4月から道内のすべてのホテル、旅館に宿泊する人に、「宿泊税」を課税する準備を進めています。観光目的で比較的宿泊料金の高い宿泊だけでなく、ビジネス客の出張でも、土木・建設などで作業員が現場近くの安い旅館に連泊する場合も課税します。

しかも釧路市は、北海道の「宿泊税」に一泊200円の上乗せ課税をしようとしているのです。



村上議員は、「宿泊税は撤回し、道の宿泊税も検討をやめるよう求めよ」と迫りましたが、市は、予定通り進める」と強弁。一番の被害は低廉な価格の宿泊客。実施済みの東京でも大阪でも、

一定額までは非課税（東京は1万円）なのに、北海道は例外なし。集めた税金は観光にだけ使うとされ、ビジネス客の不満は募るばかり。事業者への聞き取り調査でも、低価格の宿泊施設では反対が目立ちます。

星が浦地区の公共施設

星が浦にある地区会館と老人福祉センターへが老朽化しています。市が行った公共施設の老朽度

判定では、星が浦会館は、利用者がはるかに少ない阿寒の布伏内集会所、上徹別と並んで地区会館の中では最低でした。

星が浦老人福祉センターも市内の老人福祉センターの中では最も古い建設年度。建物の保全優先度を見ても、星が浦地区会館は地区会館の中では農村部の小さな会館を除くと最低。星が浦老人福祉センターは最も悪い判定で、こちらも老人福祉センターへの中では最も悪でした。



村上議員は、「建て直しのために地域の住民団体との話し合いをすぐに始めよ」と求めました。

公共施設の複合化、合築化も進んでいます。地域には複合施設として早期の建て替えを望む声もあります。村上議員は、個別に建て替えることが最適と思うが、地域から出されている複合化についても、手法のひとつとして検討するよう求めました。

議場での日の丸掲揚に反対する申し入れ

6月議会で、議場に日の丸の掲揚を求める請願が可決され、来年から掲揚の方向で検討がすすんでいます。共産党議員団は、「①日の丸の掲揚には反対、②議会運営は全会一致の原則で、③年度内実施にこだわらず、さらに慎重な検討の継続を」の3点を畑中議長に申し入れました。



村上かずしげ通信 24.9.29

発行 日本共産党釧路市議団 23-5212